



病を乗り越え…「元気アップ」には自分の好きな事をするのが一番！

パッチワークで初個展



※ギャラリーをご利用ください！
カフェ&ギャラリー「ぱーしもん」
では、服部さんのように作品の展示
をしたい方に、スペースをお貸しく
ださるそうです。☎ 22-3688



服部レイ子さん(84歳、宮地)が作られたパッチワークや小物の個展が4月にカフェ&ギャラリー「ぱーしもん」で行われました。壁掛けや手提げ、ハギレで作った小物など40点が展示され、来場者から「色使いやアイデアが斬新。この年齢でこのセンスには驚きました」と声が聞かれました。服部さんがパッチワークを始めたのは8年前。それまでは日本舞踊を趣味にしていたのですが、14年前白血病を患い入院。踊りはあきらめ静養を続けていましたが、生活に意欲をと生涯学習パッチワーク講座に参加。楽しい製作活動が服部さんの生きがいになりました。今も毎日4時間製作をされているそうです。今回の個展には、同じ様に病と闘っている方などもお越しになり、服部さんのいきいきした作品や笑顔に触れ励まされた様子でした。

すずり 硯と竹細工で初個展



松下武伸さん(61歳、宮地)が、硯と竹細工などの作品と書道家の妻レイ子さんの書とをコラボさせた小粋な「和」ぶくしの個展を4月26・27日、自宅で開かれました。和室いっばいに展示された硯50点は、彫りと削りの根気のいった作業が伝わる技巧と黒の輝きが見事で、また竹細工においても昆虫・草花などが本物そっくり精巧に作られ、見に来た人たちの目を釘付けにしました。松下さんは10年前病気で入院され、その後静養中にもかかわらず工芸を覚え、次に竹細工を。硯づくりは昨年の9月に始めたということで、子どもの頃からものづくりが好きだったとはいえ上達の早さには驚かされます。「個展を通してたくさんの方から励ましの言葉をいただきました」と松下さん。今後の製作にも意欲的です。硯づくりについては、興味のある方には、教えていただけるそうです。

※松下さん ☎ 090-6639-0220

みんなの広場

一の宮中学校野球部 初優勝！

第9回仙酔峡つつじ祭招待親善中学軟式野球大会が5月9・10日行われ、県外から6校、県内8校、阿蘇市内4校の合計18校が試合し、結果、一の宮中学校が見事初優勝しました。

なお、決勝戦は長崎の大村中学校と行い、延長8回の激しい戦いにねばりを見せ、4対3で勝ち抜きました。



阿蘇市勢健闘！バドミントン結果(阿蘇市のみ) 第59回 つつじ祭りバドミントン大会優勝者

- 男子A：馬原幸男・家入武志(内牧クラブ)
- 女子A：佐藤容子・嶋田和恵(尾ヶ石・碧水クラブ)
- 女子B：甲斐美沙・穴井保菜美(碧水クラブ)
- 男子C：岩本真一・尾前憲一(一の宮クラブ)
- 女子C：土田智子・土田直樹(尾ヶ石クラブ)



田植えをやりたい人が集まって

月刊タウン情報クマモト(ウルトラハウス)と地域おこしグループTomaとベリーな街が企画した田植え体験が4月29日、内牧の(有)内田農場の田んぼで行われました。参加したのは募集記事で応募した「田植えをしてみたい！」という若者や家族づれ約50人。早速、内田農場の内田智也さんから指導を受けながら田植えを開始。手植えに「農業や自然を五感で体験できます！」と感激した様子でした。